

教育委員会だより

## 今、教育委員は！

平成27年10月

教育委員 宮澤 則子

今年も秋晴れの中、小学校の運動会も地域の方々に見守られ、元気いっぱい賑やかに行われました。

又、中学校の文化祭もクラスがひとつになり、生き生きと堂々とした姿で歌う子ども達の歌声は、多くの方の心に響き感動を与えてくれたことと思います。

日頃から学校に対する温かいご支援ありがとうございます。

### 1 臼田地区小学校整備について

検討委員会も10回開催され、新小学校が目指す学校の姿、学校の建設場所の選定に関する観点や条件、そして、建設候補地に関する委員さんの考えをお聞きしまして、協議・検討して参りました。

現在、新小学校の目指す学校の姿（案）も整い、建設候補地も4箇所にしぼられました。毎回の検討委員



会の皆様の新小学校建設に向けての温かいご意見、誠にありがとうございます。

(※詳細は教育委員会ホームページをご覧ください。)

### 2 学校訪問から

東信教育事務所主幹指導主事の羽毛田先生と学校訪問させていただいております。ある小学校を訪問させていただいた時、子ども達は運動会の練習で教室には居なかったのですが、廊下には子ども達の夏休みの作品が丁寧に飾られ、教室の棚には所狭しとお花や水槽が並べられ、金魚・ヒメダカ・カメ、さすがにへビにはぎよっとしましたが、伸び伸びと育っている子ども達の楽しそうな笑顔が伝わってくる温かい教室がありました。

又、庁務員さん、図書館の先生、保健室の先生や特別支援の先生とお話しさせていただくと、違った面から学校の様子や子ども達の様子をお聞きすることができ、学校という組織は、子ども達を中心に校長先生はじめさまざまな方々に支えられ守られて成り立っていることを改めて感じました。子ども達が安全で安心して学校生活を送ることが出来るためにお力をいただいている全ての方に感謝です。

### 3 笑顔で登校支援事業について

この事業は平成24年度までは県教委の事業でしたが、平成25年度より佐久市単独事業で行うようになり3年目になります。家庭訪問相談支援、チャレンジ教室相談支援など、スクールメンタルアドバイザー（SMA）がコーディネートし活動しています。3人のハートフルフレンド（HF）も家庭等に訪問し、学校に登校していない児童・生徒の支援活動をしています。

又、学校、保護者、HF、SMAの連絡会を定期的に行いその子にそった支援を探っています。

#### <チャレンジ教室>

野沢会館内にあるこの教室は開放感があり、クラシック音楽を静かに流し、子どもの心をリラックスさせたり、読み聞かせ、運動やゲーム、又、さまざまな行事を通し仲間作りをしたりと、安心して子ども達は過ごしています。過去5年間で46名の卒業生のうち、43名はほとんど順調に高校生活を送っています。この事業で少しでも悩める子ども達の支えになり、前へ一歩踏み出すお手伝いが出来たらと思います。



#### ～今思うこと～

今、教育現場における、いじめ、不登校、学級崩壊、心の病と子どもを取り巻く問題は多様化し、複雑化しています。

この度、ノーベル医学・生理学賞を受賞された大村智先生は「何か役に立つことはないかと絶えず考え、人の役に立つことをやりたい」と思っていたそうです。そして、学生には「失敗を繰り返してもやりたいことをやりなさい」とエールを送っているとおっしゃっていました。

“何の為に”勉強するか、目標が決まったら子どもはその目標に向かい一生懸命に生きて行けるのではないのでしょうか。その“何の為”を一人ひとりの子どもの良さを見つけ、伸ばしてあげることも大切な教育だと思います。

子ども達の笑顔が守られ、希望の未来が開ける人間教育を願います。